



2018年11月28日

各 位

会 社 名 プロパティデータバンク株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 板谷 敏正  
(コード番号：4389 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役 管理部門管掌 大田 武  
(TEL. 03-5777-3468)

### 新規事業の開始に関するお知らせ

当社は、2018年11月28日開催の取締役会において、以下のとおり、新規事業として「データサイエンス サービス」の提供を開始することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 事業開始の趣旨

当社は、創業時より不動産業務における様々な課題を、IT技術を用いて効率的・効果的に解決する「不動産テック企業」として、事業を推進しております。

今般、当社が掲げる「Real Estate Tech 360」に沿った新サービスとして、以下のとおり「データサイエンス サービス」の提供を開始いたします。

#### 2. 新たな事業の概要

##### (1) 新たな事業の内容（データサイエンス サービス）

@プロパティに蓄積されたビッグデータを最新のAI技術等によって解析することで得られる、最適賃料の算出、退去確率・空室期間・改修工事投資効果の予測等を希望する顧客に提供いたします。本サービスの利用により、不動産の効率的な管理・運用に貢献することが期待できます。

また、前述の技術を応用し、不動産・地理情報等の外部情報を併せて活用することで可能となる商業施設売上予測サービスを新たな事業として展開いたします。本サービスの利用により、飲食・小売業など多店舗を展開する企業の新規出店検討の効率化、既存店舗の運営改善・業態変更などによる売上の向上が可能となります。

なお、本サービスでは継続的な顧客利用を前提として、安定的な収益確保と利用に応じた予想モデルの強化が図られ、従来の業務コンサルティング等とは一線を画す画期的サービスとなります。

現在、この商業施設売上予測サービスは試験的に営業を開始しており、足元では多店舗展開する企業数社から受注と引き合いをいただいております、好調に推移しております。

##### (2) 新たな事業を開始する時期

2019年1月より

##### (3) 当該事業を担当する部門

経営企画部

##### (4) 当該事業の開始のために支出する金額及び内容

第18期 有価証券報告書 第一部【企業情報】第3【設備の状況】3【設備の新設、除却等の計画】(1) 重要な設備の新設等 に記載のとおり、不動産施設等に関連する情報分析クラウドサービス（データサイエンス サービス）の開発投資として25,000千円を2020年6月まで順

次支出する予定です。

3. 今後の見通し

本件による2019年3月期の業績への影響は軽微と見込んでおりますが、他の要因も含め業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

以 上